



## 秋の収穫を楽しみに

富野保育所児童が宇宙毛豆の植え付けを体験

首都圏でも注目されている青森の毛豆。この栽培に取り組む野上健さん(下高根)が、6月6日(金)自身の枝豆畑に富野保育所の児童15人を招き、植え付け体験を行いました。

この日は、小雨が降るなど少し寒い日となりましたが、子どもたちは作業方法を聞いた後、1粒ずつ丁寧に植え付けました。植えた豆は、五所川原農林高校から提供を受け、宇宙にいったきた豆の子孫であり、子どもたちは「宇宙？すごい」と驚いていました。

植え付けを終えて、野上さんは「子どもたちの植えるスピードが速くてびっくりした。秋の収穫には、お母さんたちも一緒に収穫で

できればと思う。今回の体験を通じて、子どもたちに食育はもちろん、青森県の美味しい毛豆を覚えて欲しいし、好きになって欲しい」と話していました。

## 植え付けを体験

中里保育所と中里小が畑の学校・食卓の学校に参加

今年もグリーンツーリズムの会「かけはし」では、畑の学校・食卓の学校を行い、中里保育所と中里小学校が参加し、ピュア近くの体験ほ場で、いも・豆類の植え付けなどを体験しました。

### ■中里保育所じゃがいも植え体験〈5月29日(木)〉

じゃがいもの植え付けには、中里保育所年長組児童17人が参加しました。児童たちは畑の先生たちによる上手に植える方法などお話を熱心に聞いたあと、種いもを一つ一つ丁寧に植えていきました。

体験を終え、畑の先生から「このじゃがいもは、〈とうや〉といます。サラダやカレーに入れると美味しいです。ピュアにきたら〈とうや〉に会いにきてください」とじゃがいもについて説明すると、子どもたちが「とうやを見に来る」と答えていました。その後、畑の先生たちに歌のプレゼントをしました。先生から「じゃがいもの名前は？」ときかされると全員「えーっと…」。歌ったら忘れてしまったようで、先生たちも大笑いしました。

### ■中里小学校〈6月4日(水)〉

#### ○1・2年生、さつまいもと枝豆の植え付け体験

1年生29人と2年生20人が、さつまいもと枝豆の植え付けを体験しました。畑に敷かれたマルチに専用の器具で穴を開け、児童たちは用意されたさつまいもの苗や豆を植え付けていました。植えた後は、バケツやじょうろで水やりを行い、成長を願いました。

#### ○5年生、田植え体験

神かづ子さん(豊岡)の田んぼを利用し、機械で植えることができない田んぼの四隅に5年生児童30人が、裸足になって、苗を植えていきました。最初は足をとられ、うまく植えることができませんでしたが、だんだん慣れてくると「苗をもっとちょうだい」という児童もいました。また、十三湖土地改良区の職員の説明を聞き、武田地域の水田特有のパイプラインについて学習しました。



## 地元小泊地域を学ぶ

小泊小学校6年生がふるさと学習

町のために自分たちができることを学ぼうと小泊小6年生19人が、6月13日(金)役場職員を講師に、地域の勉強をしました。

前半は、少子高齢化・防災対策について、自分たちが住んでいる小泊地域の現状や課題の説明を受けました。児童たちの親が小学生のころは、今の数倍の子どもたちがいたことを聞いて驚いていました。また、地震発生時の避難の経路の確認をしていました。

後半は、この地域の産業である水産を学びました。地元で獲れる魚のこと、漁法などの説明を受けたあと、海岸に移動し、海草が生えるように石灰化を防ぐ団子を投入する体験を行いました。強い雨の降る日となりましたが、児童たちは、傘を置いて、勢いよく団子を海に投入していました。



## 昔の人々の暮らしを学ぶ

中里小ふるさと何でも学習

昔の人々の暮らしを学ぼうと中里小6年生31人が、5月20日(火)と6月12日(土)の2日間、博物館や中里城址で地域の歴史と文化を学びました。

1回目は、博物館を訪れ、職員から縄文時代から昭和まで、模型や中里城址から出土した土器や農具などをみながら説明を受けました。児童たちは、狩りの方法などを質問したり、説明内容を熱心にメモをとりながら中里地域の人々の生活を学びました。

2回目は博物館で学んだ知識を生かしながら実際に中里城址を見学。児童たちは当時の生活状況などを確認しました。展望台に上ったの質問コーナーでは「城はいつできたか、城の主は誰か」などと聞いていました。この様子は15pの博物館ニュースで詳しく取りあげています。

広告

人気イベントどっと混む!!  
**農漁祭**  
 恒例のお楽しみ抽選会もあるよ!  
**生ビール**  
 冷えています。  
 7/26(土)18:00~20:30  
 中泊町総合文化センター「バルナス」  
 ■お一人様 3,000円 ■定員300名  
 前売りチケット好評発売中

7月  
 アクトプランイベント情報

GOLF 第3回アクトプラン杯 GOLF  
**ゴルフコンペ**  
 2014  
 7月26日(土) 8:16スタート  
 会場：ナクア白神ゴルフコース  
 参加費：4,000円(賞品・パーティ代含む)  
 申込み締切：7月15日(火)限定50名  
 表彰式会場：中泊町総合文化センター『バルナス』  
 表彰式 17:00~ リハーサル室 / 懇親会 18:00~ ホール

問い合わせ先

☎ 0173-57-5720



株式会社 アクトプラン

〒037-0309

中泊町大字八幡字日向334

受付時間：午前8時~午後6時(土日祝を含む)

## 県代表として全国大会へ

### 野上工藤ペアが県大会で優勝

**青**森県小学生ソフトテニス選手権大会が、6月14日(土)おいらせ町いちょう公園テニスコートにおいて開催され、女子の部で中泊ジュニアソフトテニスクラブ所属の野上莉来奈(薄小6年)・工藤芽依(武田小6年)ペアが参加した31組の中から勝ち抜き、見事優勝しました。

この大会は全国大会の県予選も兼ねていて、ベスト4に入った3ペアと一緒に県代表として、7月31日～8月3日に大分県大分市で行われる全国大会に出場します。

中泊ジュニアソフトテニスクラブでは、毎週木、土曜日午後7時から9時まで体育センターで練習しています。ソフトテニスを体験してみたい人は遊びに来てください。



## ナイスショット

### 中泊町グラウンド・ゴルフ町長杯大会

**健**康維持と体力増進、愛好者相互の親睦を目的に、町グラウンド・ゴルフ協会(会長・鈴木喜代三郎)が6月11日(水)運動公園で、中泊町グラウンド・ゴルフ町長杯大会を開催しました。

時々小雨が降るこの日は、青森市、大鰐町など当町を含め11市町から210人の選手が参加しました。

開会式では小野町長が「今日は暑くはなく良いコンディションだと思います。優勝目指して頑張ってください」とあいさつしました。選手たちは、青赤組・男女別に分かれ、コースを周り、プレーに臨みました。「ナイスショット、惜しい」など各グループから歓声が響いていました。

■大会結果 総合優勝…男子・今健一(五所川原市)、女子・木村エチ(鱒ヶ沢町)  
(町選手結果…青組女子3位・古川キサ、赤組男子2位・木村幸雄)



## 開幕試合はイカーズ勝利

### 小泊ナイター野球が開幕

**3**チーム(イカーズ・メッツ・無限会)がリーグ戦で争う恒例の小泊ナイター野球。6月9日(月)小泊ふれあい運動場で、開幕試合が行われました。今年で21回目となる開幕戦は、昨年の優勝チームのイカーズと無限会。イカーズ秋元投手と無限会伊藤投手が先発し、16対7でホームランなどで得点を重ねたイカーズが勝利しました。梅雨のシーズンの開幕となりましたが、この日は晴れとなり、選手たちは、気持ちの良い汗を流していました。試合終了後、各チームは、祝勝会、反省会を行ったそうです。



## 国体を目指して

### 青森県相撲選手権大会

**第**76回青森県相撲選手権大会が、6月15日(日)中里相撲場で行われました。この大会は、国体の予選を兼ねていることから、選手達は予選突破を目標に日頃の稽古の成果を出そうと挑みました。

開会では、大会長の小野町長が「当町でこの大会ができることをうれしく思う。国体目指してがんばっていただきたい。また、このあと中体連も行われるので、会場の中学生選手の模範となるよう期待している」とあいさつ。また、当町の伏見鴻選手が選手宣誓を務めました。時々雨が降る肌寒い日となりましたが、激しいあたりや豪快な投げなど迫力のある取組が続きました。



## 作業の安全を祈り

### 航空防除安全祈願祭

(有)中里エアサービス、中里航空防除組合が、ピュア近くの町集出荷予冷施設前で、防除用ヘリの作業前安全祈願祭を行いました。

式にはオペレーターなど関係者23人が参加し、作業に使用する8台のヘリコプターを前に作業の安全と豊作を祈り、気を引き締めていました。

また、この日は、ヘリコプターのテスト飛行も行い、操作などの確認を行いました。航空防除作業は7月下旬から9月上旬まで水田や大豆畑で行われます。



## 今年は薄市小へ

### 第10回中泊町チャリティゴルフ大会

町の児童生徒の健全育成支援を目的に第10回を迎える中泊町チャリティゴルフ大会が、6月21日(土)ナクア白神ゴルフコースで行われ、町内外から80人のゴルファーが参加しました。

プレー後は、総合文化センター「パルナス」で表彰式が開かれ、下山実行委員長から加藤教育長へこの日のチャリティ金10万円の目録が手渡されました。今年度は薄市小学校で活用されます。

#### ■大会成績

Aクラス優勝…長尾信彦、Bクラス優勝…木村文子、  
団体優勝…チーム商工会C(長尾信彦、木村毅、斎藤守、長利富士子)

## 砂防ボランティアが参加

### 滝ノ沢砂防愛ランドでヤマメ放流

子どもたちに砂防ダムの役割やヤマメの生態を勉強してもらおうと、「子どもたちと夢をみる会」が毎年行っているヤマメ放流会が、6月16日(月)滝ノ沢砂防愛ランドで開催されました。

この日は、朝から強い雨や雷が伴い、予定していた中里小4年生の参加を断念し、砂防事業関係に携わった県職員OBで構成される砂防ボランティアのみなさんが放流を行いました。

水量が増えた川に12cm程のヤマメの幼魚4,000匹をバケツで丁寧に放流しました。速い流れでも幼魚は、元気よく泳いでいました。

白川会長は「今日は天候が悪化して子どもたちが来れなくてとても残念。今回は砂防ボランティアのみなさんが協力してくれてありがたい。来年は良い天気を願う」と話していました。



#### 広告

**8月12日(火)**  
午後6時30分～

場所 はくちよう亭奈良屋  
(中泊町今泉)  
会費 2,000円(当日徴収)  
(平成25年度卒業生は1,000円)

青森県立中里高等学校  
同窓会事務局

☎0173-58-3149

青森県立中里高等学校  
**同窓会総会**

同窓生同士で集い、近況を話したり、昔話を語り合ってみませんか?  
中里高校卒業生ならどなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。  
参加を希望される方は、同窓会事務局まで。

## 町発展への功績が認められ受章

元中里町議(故)中村良孝氏へ勲章

今年3月に亡くなった中村良孝氏(元中里町議会議員)に、旭日単光章が授与されることになり、5月30日(金)尾別の自宅で伝達式が行われました。

故中村氏は、昭和7年生まれで、中里町議会議員を通算5期20年以上の永きにわたり在職し、平成16年2月に町議会議員を退任するまでの間、町議会副議長を務めるなど重責を担い、当時の中里町の振興や社会福祉の向上に大きく貢献しました。

受章の伝達は、妻の中村京子さんと子の中村美恵子さんに小野町長から行われました。受章について京子さんは「若いときからいろいろな役目を持ち、いろんなところにも行けたし、人生を楽しんだと思う。そしてこのような立派な章を受け、本人も喜んでいるだろう」と思い出を話していました。



## 子どもたちに沿道から声援

中里小なにもさきパレード

中里小学校が全校をあげて行うなにもさきパレード。5月31日(土)わんぱく広場から津軽中里駅までの道をねり歩きました。このパレードは運動会前日にPTAが中心となって、毎年行っています。晴天となった今年も、沿道には家族や地域のみなさんがかけつけ、児童たちに拍手や声援を送っていました。児童たちも声援に応えるように笑顔で踊っていました。

## 感謝を込めて漁港を清掃

小泊清港会が清掃活動

港の環境保護を目的に漁師、漁協関係者、建設業者などで組織する小泊清港会が、5月20日(火)小泊漁港内で清掃奉仕活動を行いました。

この日は、小泊漁協職員、小泊漁協組合員、小泊漁協婦人部、(有)笹山興業、(株)齋勝建設、町外の遊漁船所有者たち約100人が参加しました。港内の空き缶やペットボトル、廃プラスチック、使わなくなった漁具などの回収や側溝清掃を行いました。参加者は「今日は天気も良く、日頃お世話になっている漁港をきれいにし、感謝の気持ちで清掃した」と話していました。



## これからも続けていきたい

小泊婦人会が道路清掃ボランティア

小泊婦人会(会長・秋元英子)が、5月26日(月)道路の清掃ボランティアを行いました。

この日は会員8人が参加し、小泊支所からすくすくこども館までの路肩のゴミ拾いと草取り作業に汗を流しました。また、次回はすくすくこども館からマリパーク間の清掃を行うことになっています。同会によるこの活動は今年で16年目となり、秋元会長は今後も続けていきたいと語っていました。